



EX-TREND武蔵 建設CAD ⇔ CIMPHONY Plus連携

EX-TREND武蔵 建設CADと
CIMPHONY Plus間でデータをアップロード/
ダウンロードする操作を説明します。

※はじめての方は、まず「かんたん操作手順書」を
お読みいただくことをおすすめします。

※ CIMPHONY Plus連携ツールは2024/10/22版で解説しています。
最新版のインストールはFCアカウントの【プログラムの更新】から
行ってください。

目次

1. CIMPHONY Plusへアップロード	1
1-1 《建設CAD》連携ファイルをアップロードする	1
2. CIMPHONY Plusからダウンロード	7
2-1 《建設CAD》連携ファイルをダウンロードする	7
2-2 《座標入力》座標データをダウンロードする	10
3. 注意事項	13
3-1 現場が表示されない場合	13
3-2 プロキシサーバー環境の場合	15

1

CIMPHONY Plus へアップロード

弊社アプリケーション間の連携用ファイル（XFDファイル）をCIMPHONY Plusへアップロードする操作を説明します。

※アップロードは「所有者」または「作成者」のユーザーのみ行えます。

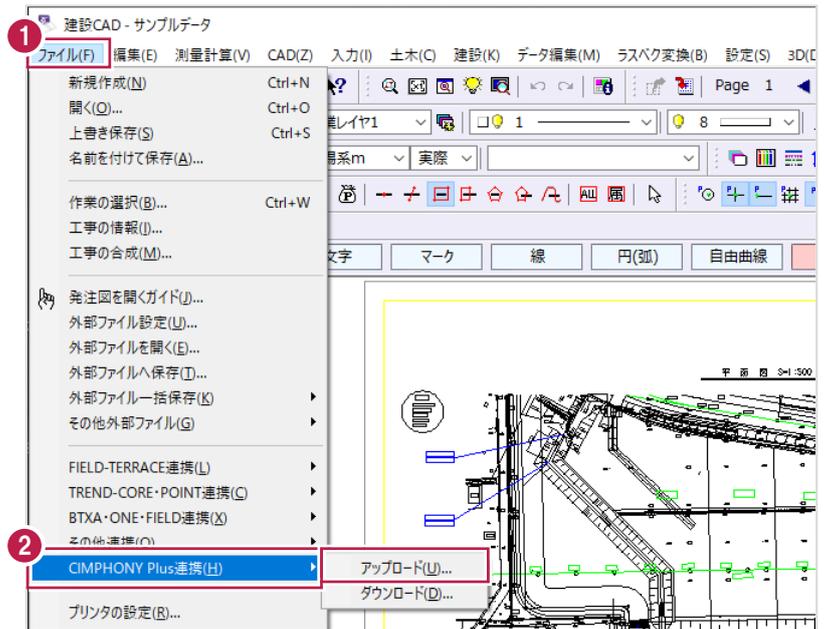
（「参照者」のユーザーはアップロードできません。）

1-1 《建設CAD》 連携ファイルをアップロードする

連携ファイル（XFDファイル）をCIMPHONY Plusへアップロードします。

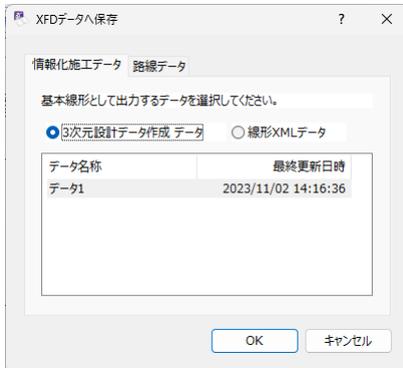
① 建設CADでメニューバーの「ファイル」をクリックします。

② [CIMPHONY Plus 連携] – [アップロード] をクリックします。



③ [OK] をクリックします。

以下のダイアログが表示された場合は、出力するデータを選択してください。



- ④ 「メールアドレス」と「パスワード」、または「FC アカウント」でログインします。
※ログイン後、30 日間は認証情報が保存されます。

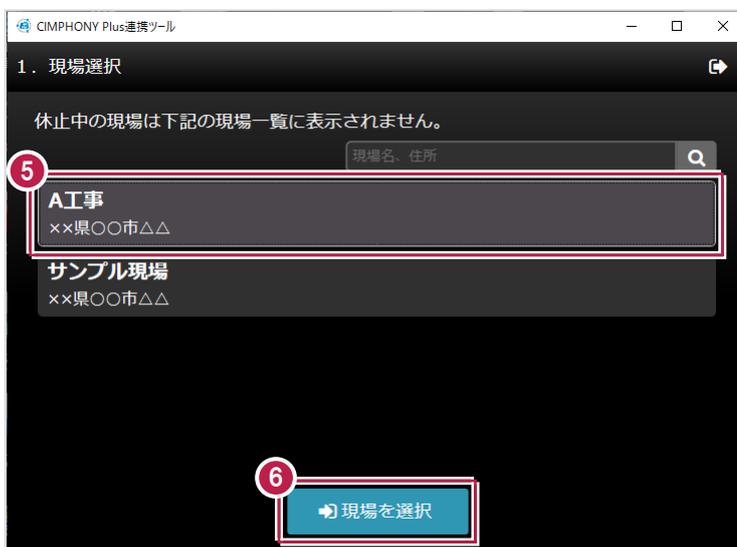
《参照》 3-2.プロキシサーバー
環境の場合



- ⑤ 現場を選択します。

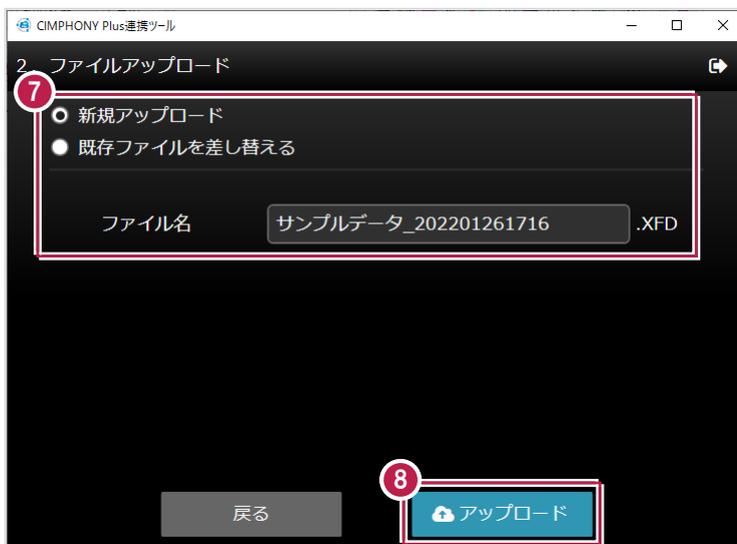
《参照》 3-1.現場が表示されない
場合

- ⑥ [現場を選択] をクリックします。
※工期終了した現場にデータをアップロードすることはできません。

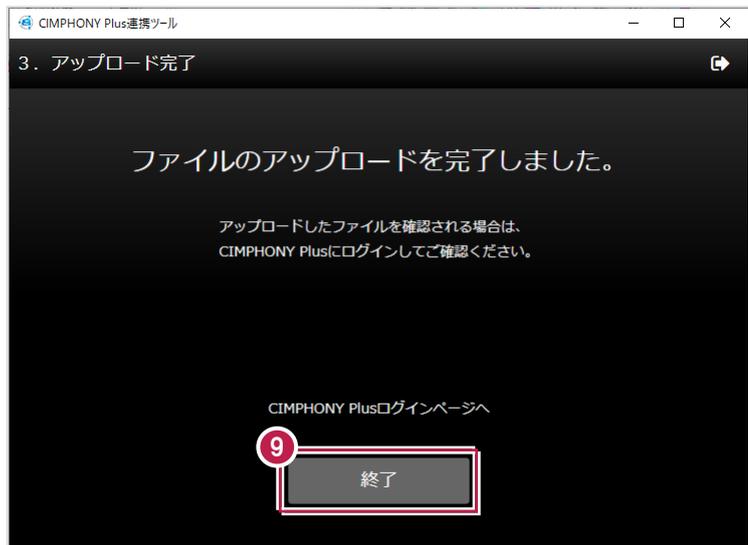


- ⑦ アップロードするファイルの [ファイル名] 等を設定します。

- ⑧ [アップロード] をクリックします。



- 9 [終了] をクリックします。
データが転送されます。

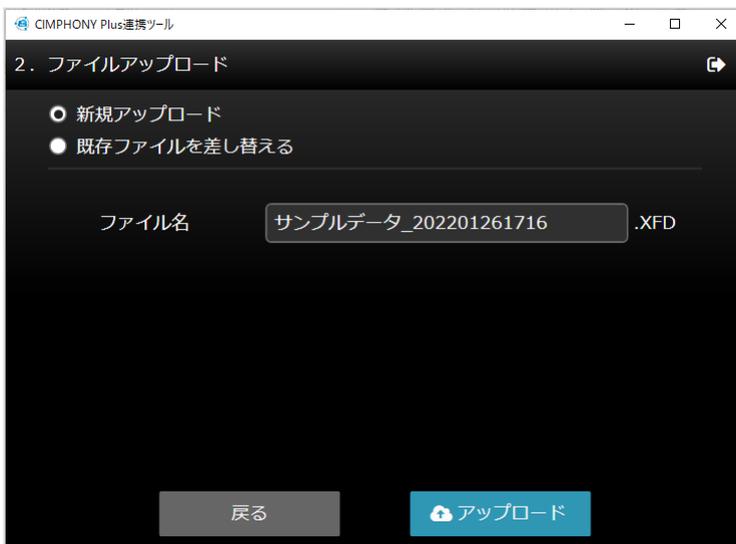


- 10 [OK] をクリックします。



補足

アップロード設定について



【新規アップロード】：新規ファイルをアップロードする場合に選択します。

【既存ファイルを差し替える】：既存のファイルを差し替える場合に選択します。

【ファイル名】：ファイル名が自動で入力されます。

ファイル名を変更したい場合は、入力し直してください。

※登録済みの他のファイルと同じ名称でアップロードすることはできません。

※以下の文字は使用できません。

¥/:*?"<>|

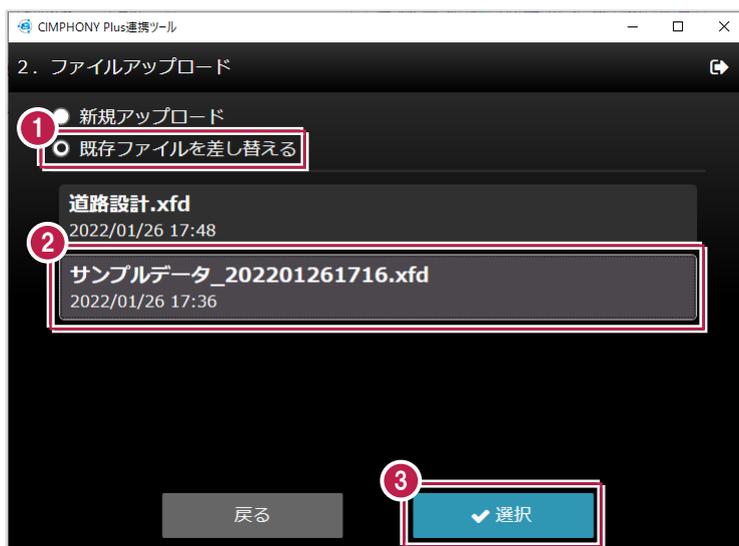
(次ページへ続きます)

■ 既存ファイルを差し替える手順

① [既存ファイルを差し替える] を選択します。

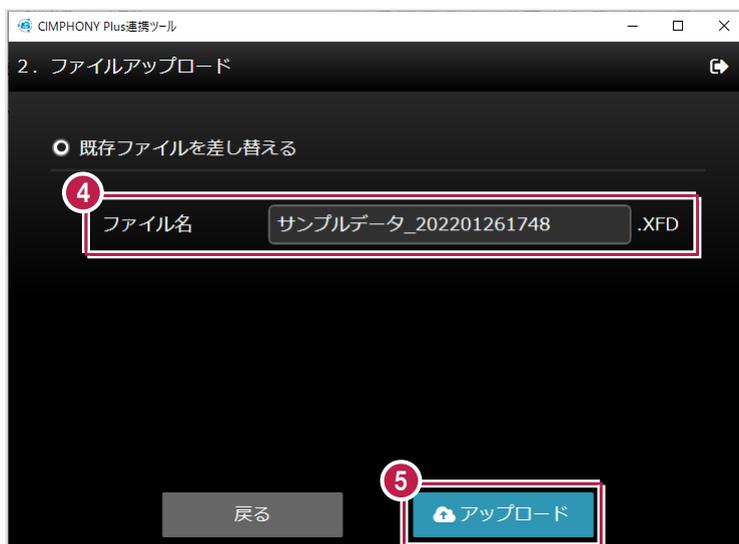
② 差し替えるファイルを選択します。

③ [選択] をクリックします。

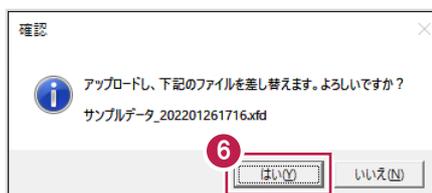


④ [ファイル名] を設定します。

⑤ [アップロード] をクリックします。

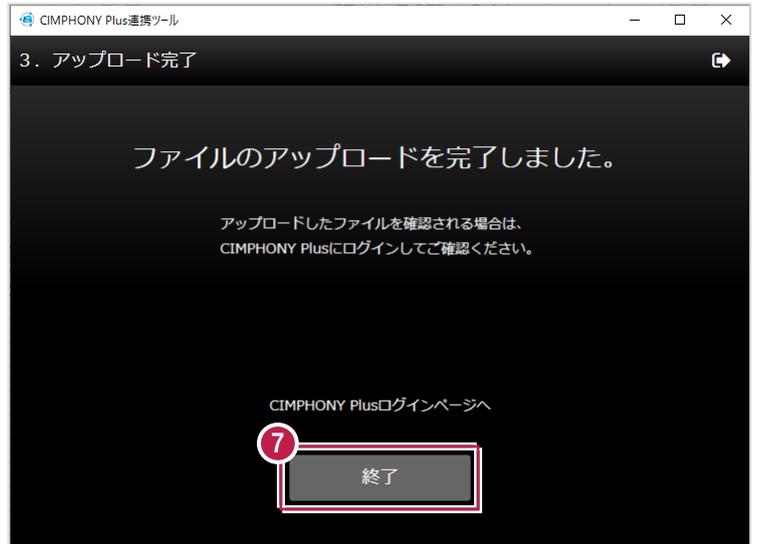


⑥ [はい] をクリックします。

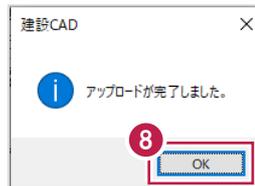


(次ページへ続きます)

7 [終了] をクリックします。



8 [OK] をクリックします。



補足

アップロードしたデータの格納場所

アップロードしたデータはCIMPTHONY Plus [ファイル管理] の以下のフォルダーに格納されます。



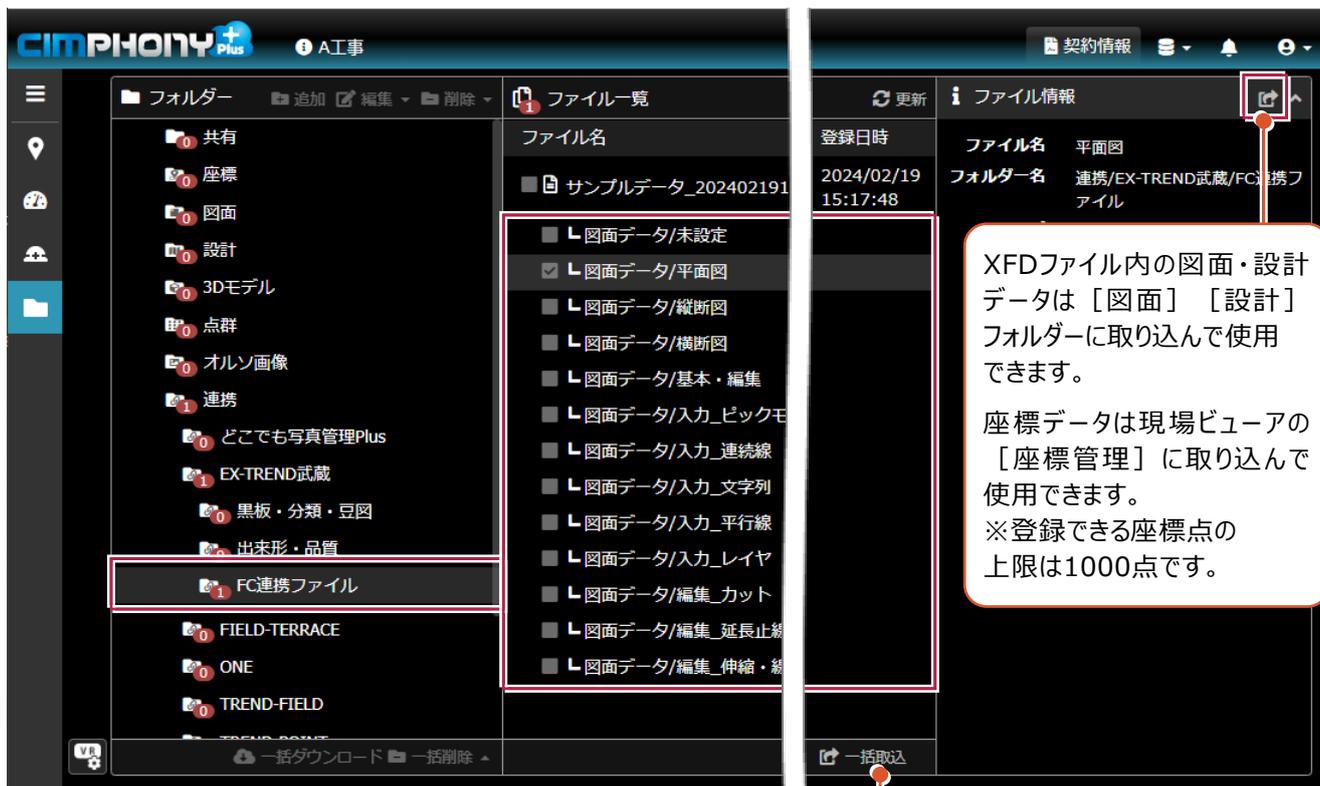
アップロードしたデータを CIMPHONY Plus で使用する

CIMPHONY Plusに登録されたXFDファイル内の図面データ・設計データ（LandXML、基本設計データ）は、
 [図面] [設計] フォルダに取り込んで使用できます。

また、座標データは現場ビューアの [座標管理] に取り込んで使用できます。

※設計データの使用は、[現場情報] の [3Dを利用する] がオンになっている現場が対象です。

※取り込み時の設定については、CIMPHONY Plusヘルプ「ファイルを追加する」の「図面ファイルを追加する」「設計ファイルを追加する（3D）」、および「【作成者】座標点を配置する」を参照してください。



XFDファイル内の図面・設計データは [図面] [設計] フォルダに取り込んで使用できます。
 座標データは現場ビューアの [座標管理] に取り込んで使用できます。
 ※登録できる座標点の上限は1000点です。

複数ファイルを選択して、[一括取込] することもできます。取り込み後、各フォルダや [座標管理] でファイル情報や座標種別などを設定してください。

図面・設計データを取り込み後、ファイル情報の [取込済] をクリックすると、取り込み先のフォルダへ移動できます。

座標データを取り込み後、現場ビューアの [座標管理] で [ファイル] をクリックすると、取り込み元のフォルダへ移動できます。



座標一覧				
<input checked="" type="checkbox"/>	No	表示	色	点名
<input type="checkbox"/>	1	<input type="radio"/>	■	G1
<input type="checkbox"/>	2	<input type="radio"/>	■	G2
<input type="checkbox"/>	3	<input type="radio"/>	■	T1
<input type="checkbox"/>	4	<input type="radio"/>	■	T2
<input type="checkbox"/>	5	<input type="radio"/>	■	T3
<input type="checkbox"/>	6	<input type="radio"/>	■	T4
<input type="checkbox"/>	7	<input type="radio"/>	■	T5
<input type="checkbox"/>	8	<input type="radio"/>	■	T6

× 終了	
時	登録元
0:32:48	ファイル
10:32:48	ファイル
10:32:48	ファイル

2

CIMPHONY Plus からダウンロード

CIMPHONY Plusから弊社アプリケーション間の連携ファイル（XFDファイル）や座標データをダウンロードする操作を説明します。

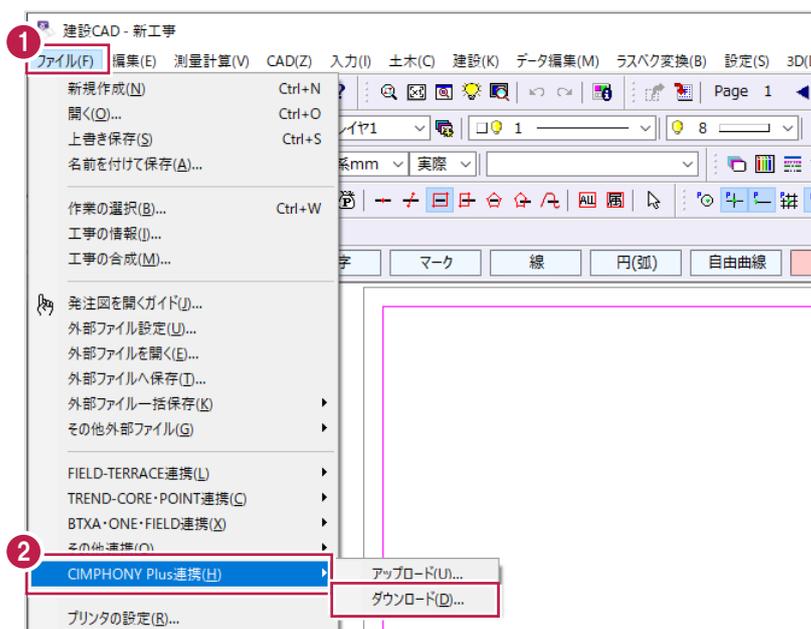
※ダウンロードは全ユーザー（「所有者」「作成者」「参照者」）が可能です。

2-1 《建設CAD》連携ファイルをダウンロードする

CIMPHONY Plusから連携ファイル（XFDファイル）をダウンロードします。

1 建設CADでメニューバーの【ファイル】をクリックします。

2 [CIMPHONY Plus 連携] - [ダウンロード] をクリックします。



3 「メールアドレス」と「パスワード」、または「FC アカウント」でログインします。

※ログイン後、30 日間は認証情報が保存されます。

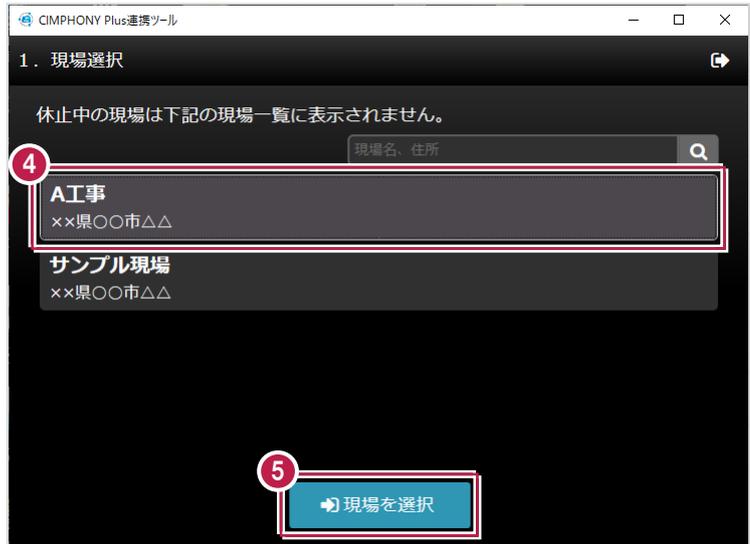
《参照》3-2.プロキシサーバー環境の場合



4 現場を選択します。

《参照》3-1.現場が表示されない
場合

5 [現場を選択] をクリックします。



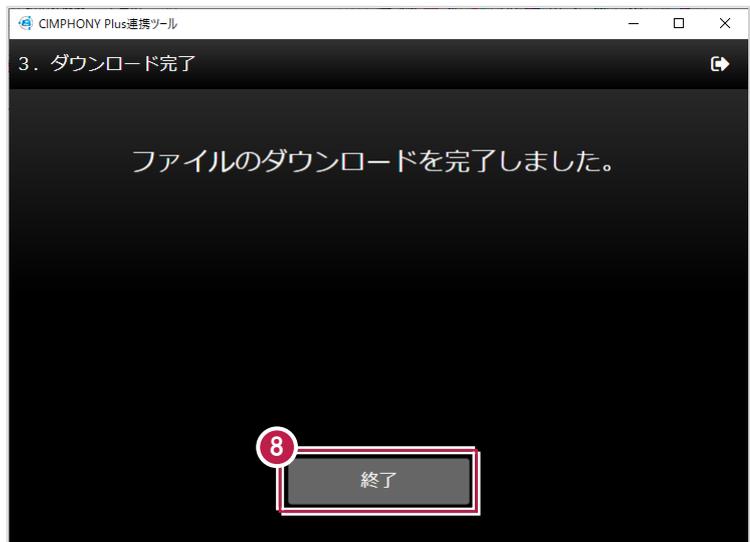
6 ファイルを選択します。

※ONE、TREND-FIELD、
EX-TREND 武蔵、TREND-CORE から
アップロードした XFD ファイルが表示されます。

7 [ダウンロード] をクリックします。

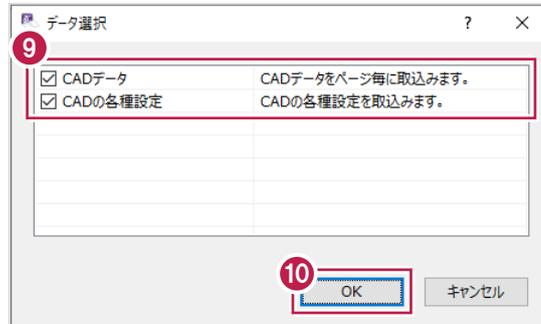


8 [終了] をクリックします。



9 取り込むデータをオンにします。

10 [OK] をクリックします。



11 [OK] をクリックします。
データが取り込まれます。



2-2 《座標入力》座標データをダウンロードする

CIMPHONY Plusから座標データ（SIMA、CSVファイル）をダウンロードします。

FIELD-TERRACEからアップロードされた座標や「座標管理」に登録されている座標が対象です。

① 座標入力で「取り込み」をクリックします。

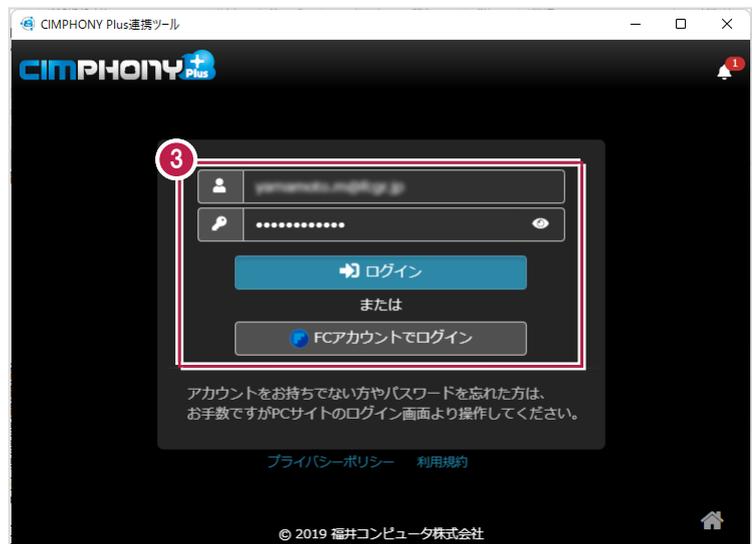
② 「CIMPHONY Plus」をクリックします。



③ 「メールアドレス」と「パスワード」、または「FC アカウント」でログインします。

※ログイン後、30 日間は認証情報が保存されます。

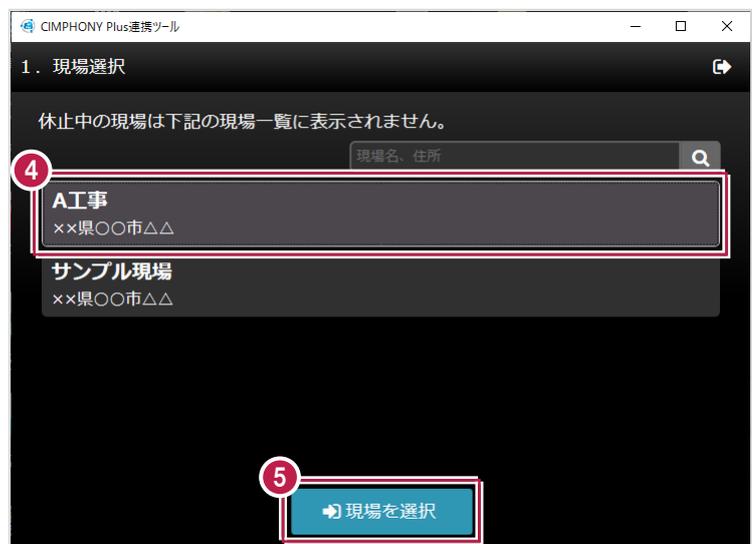
《参照》3-2.プロキシサーバー
環境の場合



④ 現場を選択します。

《参照》3-1.現場が表示されない
場合

⑤ 「現場を選択」をクリックします。



⑥ ダウンロード対象を選択します。

【ファイル管理】

CIMPHONY Plus ファイル管理の
【座標】フォルダーに登録されている座標

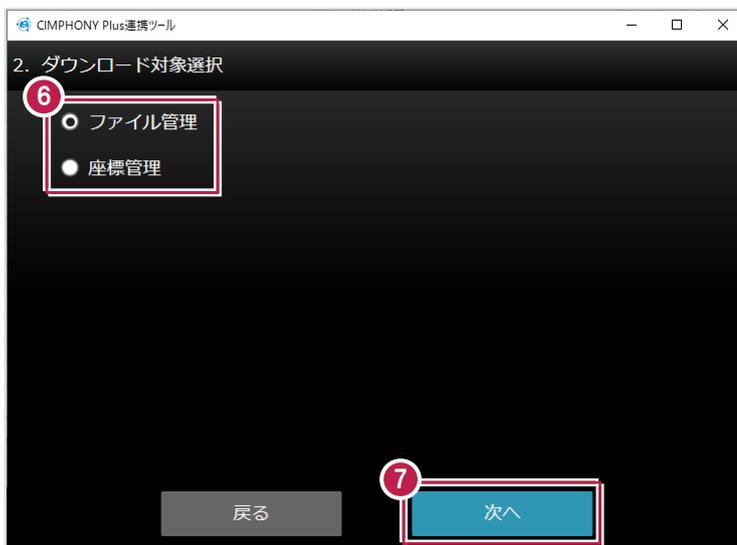
【座標管理】

CIMPHONY Plus 現場ビューアの
【座標管理】に登録されている座標

⑦ [次へ] をクリックします。

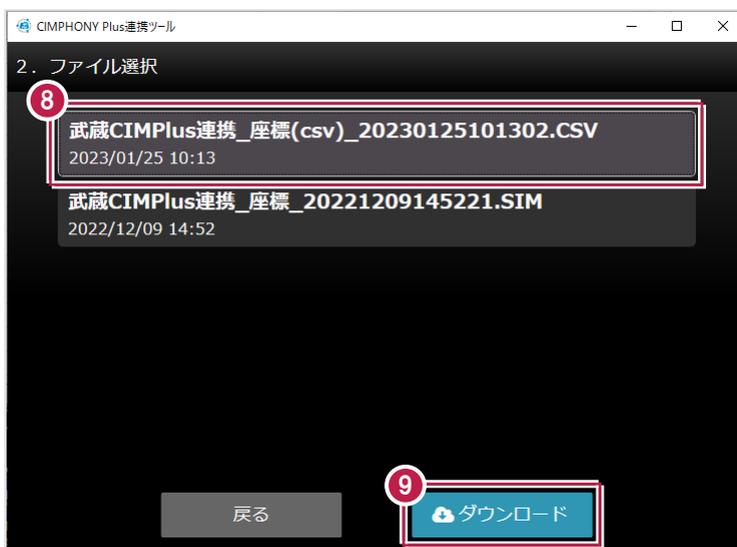
→ 【ファイル管理】を選択した場合：手順⑧へ

→ 【座標管理】を選択した場合：手順⑩へ

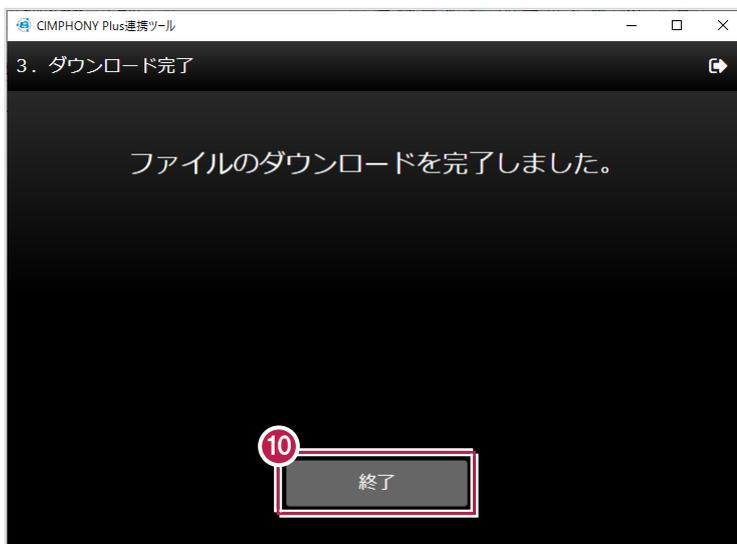


⑧ ファイルを選択します。

⑨ [ダウンロード] をクリックします。



⑩ [終了] をクリックします。



11 座標登録開始点番を設定します。

【そのままの点番で取り込む】

座標データに書き込まれている点番でそのまま《座標入力》に登録します。

【点番にオフセットを掛けて取り込む】

座標データに書き込まれている点番にオフセットを加えた点番で《座標入力》に登録します。

右側にオフセット値を入力します。

マイナス入力も可能です。

例えば、「10000」を入力し、読み込むデータの最小値が「100」の場合、「10100」から登録します。

CSVを読み込む場合は、取り込む座標の属性を選択できます。

SIMAを読み込む場合は選択できません。

12 [OK] をクリックします。

データが取り込まれます。

3

注意事項

CIMPHONY Plus連携についての注意事項を説明します。

3-1 現場が表示されない場合

アップロード/ダウンロード時に使用したい現場が表示されない場合は、以下を確認してください。



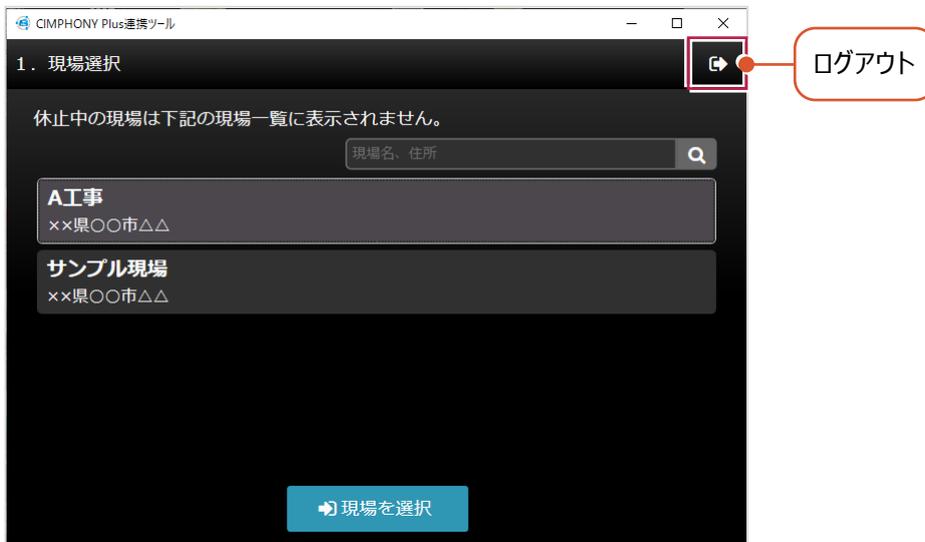
■ アップロード/ダウンロード共通

● ログインしているユーザーは、現場に招待されたユーザーですか？

現場に招待されていないユーザーの場合、現場一覧に表示されません。

「CIMPHONY Plus連携ツール」に自動ログインしている場合は、別のユーザーでログインしている可能性があります。

一度ログアウトして、正しいユーザーで再ログインしてください。



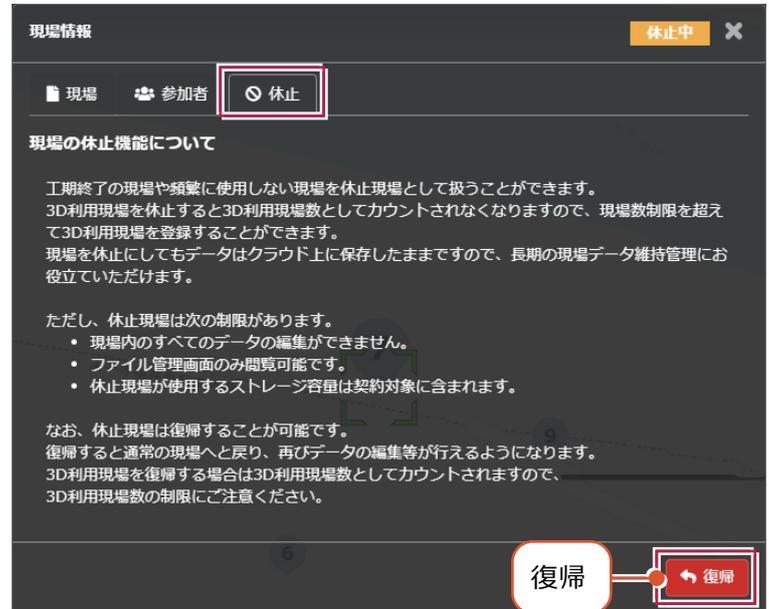
●「休止中」の現場ではありませんか？

現場一覧に表示されるのは「工期前」「工期中」「終了」の現場のみです。

WEBブラウザでCIMPHONY Plusにログインし、[休止中のみ] をオンにして確認してください。

必要であれば「現場情報」の[休止] タブで現場を復帰してください。

([復帰] は「所有者」のユーザーのみ可能)



■ アップロード時のみ

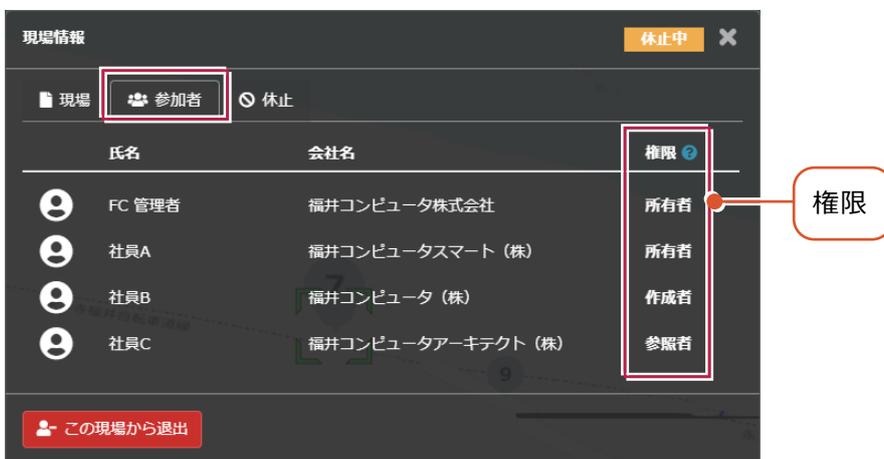
●ログインしているユーザーは「参照者」ではありませんか？

アップロードは「所有者」または「作成者」のユーザーのみ行えます。

「参照者」のユーザーはアップロードできません。

WEBブラウザでCIMPHONY Plusにログインして、「現場情報」の[参加者] タブで[権限]を確認してください。

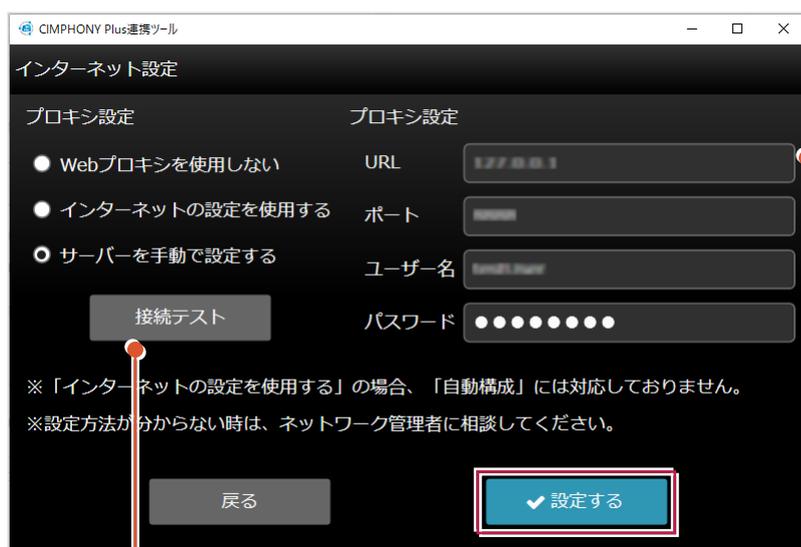
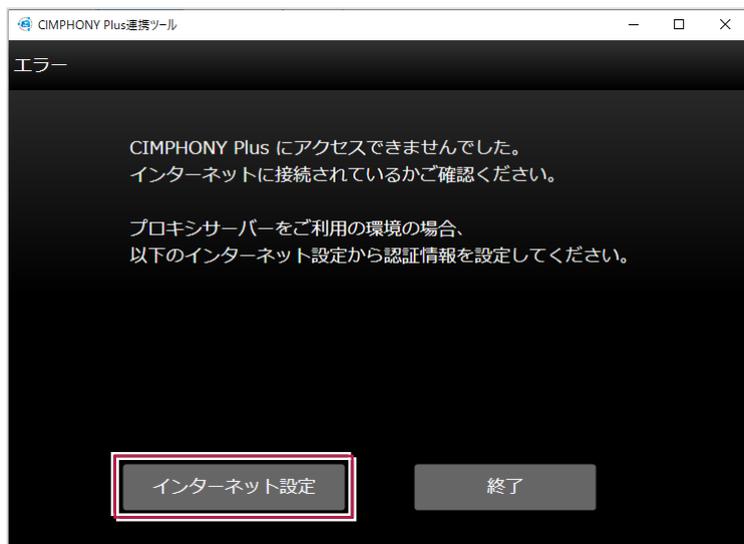
必要であれば「所有者」のユーザーに、権限の変更を依頼してください。



※ダウンロードは、招待されている全ユーザー（「所有者」「作成者」「参照者」）が可能です。

3-2 プロキシサーバー環境の場合

プロキシサーバー環境の場合は、インターネット設定で認証情報を設定してください。



[サーバーを手動で設定する] を選択した場合は、認証情報を入力してください。

[接続テスト] をクリックすると、接続可能か確認できます。

